

## 横田の空兵 小牧基地を訪問 *Yokota Airmen visit Japan's Komaki Air Base*

July 27, 2022

By Staff Sgt. Braden Anderson  
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地第36空輸中隊の空兵はこのほど、航空自衛隊第401飛行隊を訪問し、相互運用性を高めるためのイマージョン・ツアーを行った。

空輸を主に担う中隊として、第401戦術空輸中隊と第36空輸中隊は類似する任務を担っている。第401飛行隊は、人道支援活動や避難空輸を行うほか、C-130HハーキュリーズやKC-130Hハーキュリーズを用い日米の軍事活動や多国間演習の支援を行う。

第36空輸中隊のC-130Jスーパーハーキュリーズ操縦士ヤンジ・ズオ大尉は、「今回のような訪問はとても大切だ」「同盟国のパートナーと強い絆を築き、障壁を乗り越えていくために小牧基地を訪れた」と述べた。

第36空輸中隊と第401飛行隊の空兵は、互いの部隊の航空機を間近に見学し、空輸任務で実践する独自のスキルや技法を共有した。

「今回の訪問で、両部隊のパイロット、ロードマスター、乗員が互い同士、そしてそれぞれの部隊が使用する航空機について理解を深めることができた」「今後もこうした訪問を続け、航空自衛隊のパートナーと知識を共有し合いたい」とズオ大尉は述べた。

能力を強化し、横田基地の同盟パートナーや同盟国との軍同士の相互協力体制を向上することは、侵略を抑止し、自由で開かれたインド太平洋地域を維持するために不可欠であり、今回のような交流は日米のその取り組みを表すものである。

